

「具体的に」「ゆっくり」「やさしく」話しかけてください

●名前や連絡先のわかるものを持っていますか？

本人がことばで言わなくても、手帳や個人カード、名札で名前や連絡先がわかることがあります。
衣服や持ち物に名前や連絡先がないか、確認させてもらってください。

●黄色のバンダナは「支援してほしい」というサインです。

混乱した状況の中では、障害のある人が必要な支援を得られなかったり、
誰が支援できるのかわからない、ということがあるかもしれません。
そこで、セイフティーネットプロジェクト横浜では、
災害時には下記の色のバンダナなどを身につけよう、という取り組みを進めています。

「支援してほしい」→ **黄色**

「支援できる」→ **緑色**



※障害により必要な支援は様々なので、
必要に応じてマークをつけるなどの工夫も考えられます。

●コミュニケーションボードを使ってみてください。

- ・絵を指しながら、質問してください。
- ・次の行動を伝えてから、実際の行動に移ってください。
「別の教室に移動します」「今日はここで寝ます」…など



コミュニケーションボードとは

コミュニケーションが苦手な知的障害のある方などと、
周囲の人たちとの間をつなぐ話しことばに代わるもののひとつです。
文字やことばで意思を伝えることが難しくても、
ボードの絵を指さして意思を伝えることができる人もいます。



発行：2008年1月

発行者：セイフティーネットプロジェクト横浜

構成：横浜市身体障害者団体連合会・横浜市の障害者施策を考える連絡会

横浜市中心身障害児者を守る会連盟・横浜障害児を守る連絡協議会・横浜市自閉症児・者親の会

横浜知的障害関連施設協議会・横浜市障害者地域活動ホーム連絡会

横浜市障害者地域作業所連絡会・横浜市グループホーム連絡会・P&A研究会カナガワ

横浜市精神障害者地域生活支援連合会・知的障害者自立生活アシスタント連絡会

横浜市社会福祉協議会・横浜市

協力：(財)明治安田こころの健康財団

事務局：(福)横浜市社会福祉協議会 障害者支援センター

〒231-8482 横浜市中区桜木町1丁目1番地 横浜市健康福祉総合センター9階

Tel.045-681-1211 Fax.045-680-1550

こちらからダウンロードできます。

<http://www.yokohamashakyo.jp/siencenter/safetynet/safetynet.html>

<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/shogai/index.html>

このチラシは共同募金配分金により作成されています。

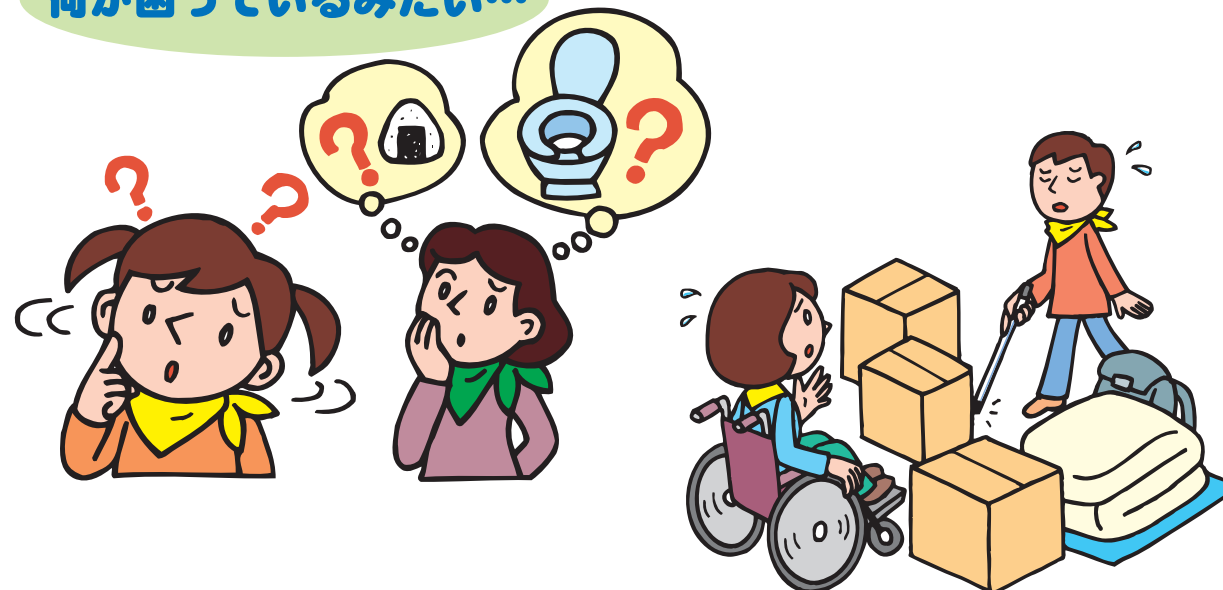
わたしたちのこと 知ってください 応援してください

人は誰でも、住み慣れた街で暮らすことを望んでいます。
障害児・者が安心して地域で暮らすためには、
地域の方々のご理解や、ご協力が必要です。

避難場所のみなさんへ

障害のある人は、自分の気持ちや状況をうまく伝えられなかったり、
必要な情報を集められないことがあります。
災害時、障害のある人が
必要な支援や情報を得られるように、
避難場所のみなさんも応援してください。

何か困っているみたい…

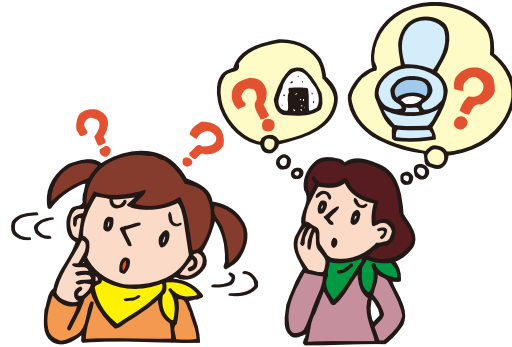


あっ、通れない…

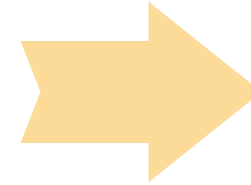
こんなときのために…

避難場所のみなさんをお願いしたいこと

何か
困っている
みたい…。



- 困っていることをうまく伝えられない人もいます。
- 表示が見えない人や音が聞こえない人、文字やことばがわからない人もいます。

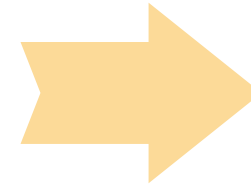


- 具体的にゆっくりと、伝わっているか確かめながら話してください。
- コミュニケーションボードを使ってください。
- 実物を示しながら聞いてみてください。
- 大切な情報を伝えるときは、文字と絵、ことばの3つの方法を用意してください。

並ぶことや
待つことが
苦手な人が
います。



- その場の様子から判断することが苦手な人もいます。(みんなが並んでいるから自分も並ぶなど)
- 並ぶことや待つことが苦手な人で、待っていると不安になる人もいます。

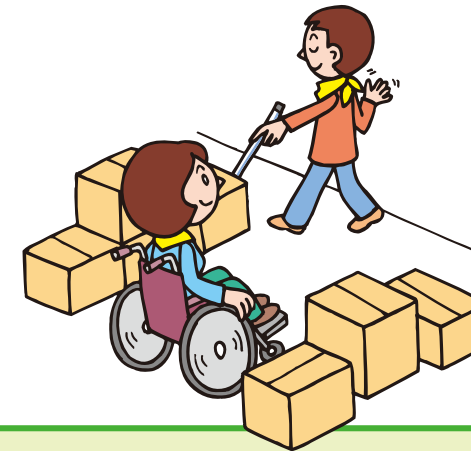
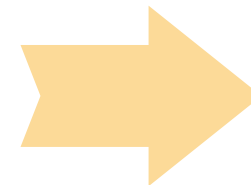


- 列の後ろへ案内して「ここに並んでください」と伝えるなど、具体的な行動を示してあげてください。
- 場合によっては順番を譲ってあげてください。

通路を
確保して
ください。



- 狭い通路や入り組んだ通路、段差により進行を妨げられてしまう人もいます。
- 歩行が不安定で転倒しやすい人もいます。

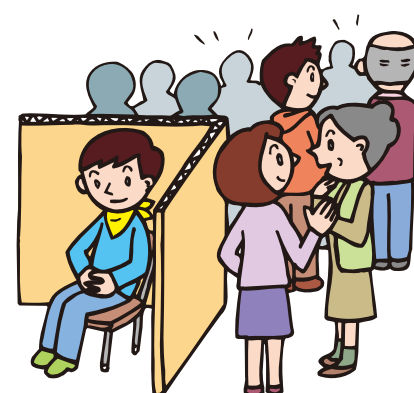
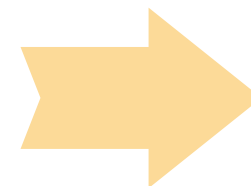


- 体育館の通路などは、車いすが通れる幅(最低90cm)以上は確保してください。また、通路には物を置かないでください。
- 誘導や介助が必要かどうか、声をかけてみてください。

気になる
行動を
しているけど？



- 状況の判断がつかず大きな不安を抱いたり、パニックをおこしやすくなる人もいます。
- 人ごみや大きな声・音、まぶしい光などが苦手な人もいます。



- 気持ちを落ち着かせるための行動かもしれませんが、しばらくの間見守ってください。
- 混乱が大きいときは、体育館以外の教室など静かな場所に移動し、落ち着くまで見守ってください。